

# サンソンプロジェクト

生活域と自然との調和・共生の里づくり

三又部落自治会  
令和2年3月7日

## 三又区の概要

横手市街地～23キロkm  
学校・スタンド～約10km

### 典型的な山村地域

主な産業 特になし  
細々と農業や葉タバコ生産

公共交通  
委託バス 1日片道4便



横手の中でも豪雪地帯



## 三又区の課題

人口減少と耕作放棄地の増加と獣害多発

過去20年で20世帯213人  
(約半分)が減少

色別

- 熊 10
- はくびしん 8
- 狸(タヌキ) 9
- イシ・シカ・サル 7
- 穴熊 4

三又地区の姿

H7国調 100世帯433人

H12国調 98世帯372人

H17国調 91世帯307人

H22国調 88世帯264人

H27国調 81世帯220人

10年後 140人

**20年後 78人**

30年後 32人

耕作放棄地の増加 → 放置すれば林に帰る

一旦林になれば…… → ① (再開発・復元困難)

② 獣害の増加

→ 加速的住環境悪化

エコ活動の目的

集落周囲を比較的復元が容易な緩衝地帯(将来の反撃基盤)として、計画的に保全し、集落の持続可能性を高める。



例 牧草地



例 ワラビ園

# 実施事業 その1 [山菜採取体験会と環境保全勉強会]

2019年5月12日 参加者 集落15 集落外 31 計 45名



大好評で集落保全応援団に希望ができた。



# 実施事業 その2[山菜畑の保全活動と水辺の生き物調査]

2019年8月4日 参加者 集落16 集落外 35 計 51名



除草



ゲンジボタルの生息が確認され、資源としての活用が話題となりました。

エコマイスターやEM推進会等の協力が得られ楽しく作業ができた。



施肥

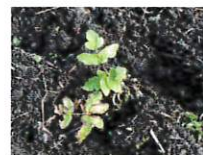


## 実施事業 その3 [山菜栽培実践活動] ゼンマイ150ポット コシアブラ150本

2019年10月20日 参加者 集落18名 植え付け面積約20アール



3年間で100アールの放棄地が解消されました。



### 事業のまとめ

#### 事業の成果

今回の事業を通して68名もの地域外住民の参加がありました。こうした支援や交流は集落住民の大きな励みとなり事業継続にあたっての希望となりました。

#### 今後の取り組み

3年間で100アールの放棄地が解消されました。集落ぐるみで山菜販売に取り組み、所得の向上と「ふるさと」を次世代に継承する取り組みをこれからも継続していきます。

#### 特記事項

たくさんのゲンジボタルが生息していることから資源としての活用やPRの仕方を検討していきたい。